

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。  
 ・本施設は、宮島自然植物実験所、総合博物館、CSR(総合博物館公認学生ボランティア)など多方面から支援を受けています。

## ホームカミングデーによる施設公開(11/4)



天候にも恵まれ、11月4日(土)に理学部企画として、施設公開を行いました。前日の準備から当日の運営まで、CSRから8名の協力がありました。今年はCSR企画として、

「世界の食虫植物展」と題し、食虫植物の展示と観察ガイドを行いました。CSRの協力により、年々、施設公開やパネル展示が充実したものになってきています。樹木クイズやしめ縄作りは、今年も好評でした。



さらに、CSRメンバーの初の試みとして水辺の生き物展示と解説を行いました。



## キャンパスのマツ

広島県は、アカマツの分布面積が多いことで知られています。

アカマツでは、秋にマツタケがとれます。



クロマツ

生育：海岸沿い 幹：灰黒色  
葉は、10～15cmで硬い  
マツボックリは、4～6cm



アカマツ

生育：内陸地 幹：赤灰色  
葉は、7～10cmで柔らかい  
マツボックリは、4～5cm



ゴヨウマツ



ストローブマツ

植物園内には、日本固有種のゴヨウマツが植えられています。教育学部の玄関わりにある北米大陸原産のストローブマツ ⇒

## 【平和大使】No.3 アメリカトネリコ

世界中から届いた苗木や種子が大切に育てられ、平和を希求する精神とともに引き継がれています。

英名：ホワイトアッシュ。材は白色、心材は淡灰褐色で、適度に硬く重量があり、さらに耐久性もあり加工も簡単に出来ることから、家具、建築材、楽器などに利用される。本学に植えられている木は、アルゼンチンのペロン大統領より寄贈されたものです。



## 栽培実習・R5 年秋コース



渋柿を収穫し、渋抜き柿・干し柿作りを体験しました。

R5 年秋コースを開始しました。今回は、やや参加者が少なかったですが、その分、しっかりと説明をしながら作業を進めることが出来ました。ハツカダイコン、カブ、シュンギク、サニーレタスの収穫が始まりました。ダイコンやニンジンが少しずつ大きくなってきていて、今からの収穫が楽しみです。



## FN どんぐりであそびビンゴ



CSR をナビゲーターとして、11月11日にフィールドナビを実施しました。当日は、オリジナルでデザインをしたビンゴカードをもって、フナ科のどんぐりの成る木を観察しながらキャンパス内を散策しました。植物園ではスタジイを炒って試食しました。



どんぐりゴマにも挑戦したよ！

## 岐阜大学 学生サークルとの交流

CSRの縁がきっかけで、岐阜大学から4名の学生さんの来園がありました。発見の小径や両生研を見学し、温室では食虫植物を見ていただきました。お互いに活動内容の情報交換をして、今後のつながりが深まりました。



## 園内の樹木

### アメリカハナノキ *Acer rubrum*



#### ムクロジ科

北米東部原産の落葉高木。紅葉がきれいで、公園樹や街路樹として植栽される。日本の固有種で自生地が限られるハナノキは、葉の裏が白く、葉先が浅く3裂する。

## 園内の花

### ゲッカビジン *Epiphyllum oxypetalum*



#### サボテン科

中南米原産の森林性着生サボテン類。花期は夏～秋で、夜に開花し芳香を放つ。小型コウモリが受粉媒介に関わっている。花は連続的に咲かず、2～3回にまとまって咲く。



【お問い合わせ先】

広島大学 東広島植物園

TEL:082-422-7111  
(内線2842)

E-mail : tshioji@hiroshima-u.ac.jp